

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 野母崎小学校区



令和6年3月9日（土）、自治会や各地区のコミュニティ協議会、PTA、民生児童委員、消防団、地元事業者、地元保育士など25人の皆さんにお集まりいただき、野母崎小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、パーロンやお祭り、伝統芸能など4地区の特色ある地域活動や、公共交通や空き家問題、高齢者の見守りなど、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①老朽危険空き家について

空き家が非常に多くなっている。連合自治会で調査し、数は大体把握しているので、市と一緒に対応を進めていけないか。

市の考え方

回答

自治会や市民等から相談等があった空き家のうち、保安上危険となるおそれのある特定空家等に該当するものについては、市でも把握しています。

特に気になる空家等については、現地調査を行うので市役所にご相談ください。

また、野母崎地区の空き家対策については、これまで同様、建築指導課と野母崎地域センターが連携して引き続き取り組んでまいります。

②地震対策について

今、全国で地震が多く発生しているので、長崎市の地震対策がどうなっているのか教えてほしい。

市の考え方

回答

長崎市地域防災計画において、最大震度6強を想定し、建築物の耐震化や落下物防止に関する啓発などの予防対策をはじめ、避難や救助活動等に関する発災時の応急対策を定めています。

また、地震を想定した訓練を定期的に行い、地域に対しては、訓練や講話などの取り組みによる啓発に加え、マイ避難所運動も推進しています。

③バスの乗り継ぎについて

バス利用の際に、10時から15時までの間は乗上でバス乗り継ぎが必要となり不便に感じる。

市の考え方

回答

野母崎地区のバス路線は、運行の効率化を図るため、令和3年4月から平日10時～14時、土日祝日10時～15時の時間帯に限り、三和地域センターで乗り継ぐハブ&スポーク型運行に変更されています。

長崎市としても、これまでバス待ちの負担軽減を図るため、三和地域センター内を待合場所として土日祝日も開放したり、バスの接近情報を表示するスマートバス停の設置を要望・支援するなど可能な限り対応しているところで、今後とも、バス事業者とも連携しながら、乗継環境等の向上に努めたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

④高浜保育園前道路の工事に伴う迂回路について

高浜保育園前の道が工事で通行止めになっており、迂回路の離合が大変なので整備をしてもらえないか。

市の考え方

回答

現在、長崎県が令和4年7月末から令和6年8月までの工程で江川河川改修工事を進めています。河川改修に併せ高浜本線(市道)の拡幅工事も実施していることから施工区間が通行止めとなっており、地元の方には高浜ダム方面からの迂回路を利用いただいています。

現在の工事は8月に完了しますが、河川整備及び道路整備についてもまだ完了しておらず、今後も整備予定があるため、県と情報共有し、地域の方への聞き取りを行いたいと考えています。

そのほか、「伝統芸能の継承をサポートしてほしい」、「病児・病後児保育施設を増やしてほしい」、「道路の安全確保のため、草刈りなどの対応をしてほしい」、「自然と触れ合えるのは野母崎の醍醐味。子どもたちが自然を楽しめるようにしてほしい」などのご意見をいただきました。

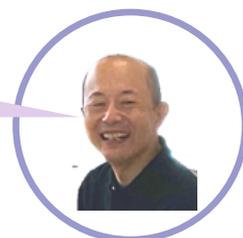
いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長の一言

それぞれで地域でどういうことに取り組まれているか、そしてその中で感じている課題など、色々とお聞きすることができました。

今後も、イベントの際など積極的に野母崎に来たいと思いますので、その際にもお話を伺えればと思います。



参加者からの感想

若い人から、子育て世代、地区代表者と色々な人の声が聞けたことは良かった。

市長が親身になって話を聞いてくれた。いつもより楽しかったです。

市長さんの市政に対する対応を真剣に聞いていただき、回答をいただき、とてもいい感じで聞いていました。

自分の知らない野母崎について改めて知ることができた。地域の課題について詳しく考えなかったもので、知っていきいたいと思った。

